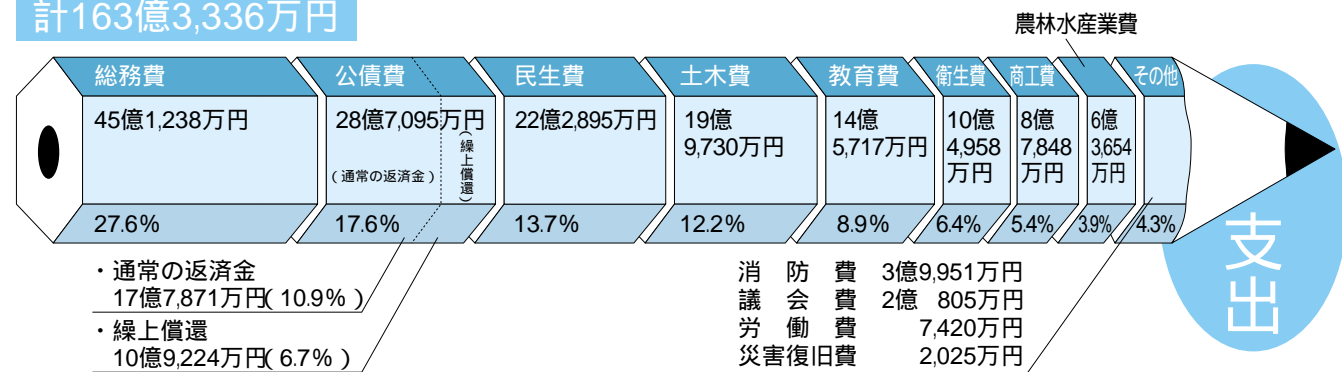


計163億3,336万円



平成12年度決算

くらし日本一のまちづくりに

163億3,336万円



ボランティア団体などの活動を支援する「白石市民活動支援センター」

のアクセスが可能となり、行政サービスの地域の均一化、高速化で市全体の保健・福祉・文化の向上と地域の活性化が図られるようになります。

さらに、それらの整備に伴い、平成13年度の6月議会より各公民館で議会のライブ中継を見ることができるようになり、行政がより身近に感じられるようになりました。

また、市では繰上償還を行っています。市が必ず支払わなければならない借入金の返済は17億8千万円で支出の10・9%ほどです。しかし、将来の負担を軽くするために、まだ返さなくてもいい分についても前倒

平成12年度の市の決算がまとまり、9月10日から9月27日まで行われた市議会定例会で認定されました。12年度も引き続き、「くらし日本一のまちづくり」を実現するために、いろいろな事業を行ってまいりました。

決算は市の家計簿であり、皆さんが納めた税金や国・県からのお金がいくら入り、どのように使われたかをまとめたものです。今月号では12年度の決算のあらましをお知らせします。

平成12年度の一般会計決算は、収入(市に入ったお金)が約168億7千万円で、支出(市が使ったお金)が約163億3千万円でした。差し引きで5億4千万円ほどの黒字決算となり、このうち2億1千万円ほどを基金(市の貯金)に積み立て、残りは13年度に繰り越しました。

収入で一番大きいのは国からもらった地方交付税で約62億円、全体の37・0%になります。次は皆さんに納めていただいた市税で約42億円、全体の25・2%です。以下、市債(借入金)、繰入金(貯金の取り崩し)と続きます。

市では皆さんが使った公共施設の整備のために有利な市債を借りています。12年度も市道整備や白石スキー場などの整備のために13億円ほどのお金を借りました。

が、その返済金の6割ほどを、国が地方交付税という形で支払いを約束しています。それで、白石市は地方交付税が多く入ってきているのです。

それでは、どんなことにお金を使ったか見てみましょう。

支出で一番大きいのは総務費で約45億円、全体の27・6%になります。次は公債費(借入金の返済金)で約29億円、全体の17・6%です。以下、民生費、土木費と続きます。

具体的には、今年度も引き続き開催中のIT(情報技術)講習会で使用するアテネ研修室内のパソコン整備や市内主要施設との情報ネットワーク整備、NPO法人や各種ボランティア団体が行う市民活動を支援するための市民活動支援セン

ターの整備など市独自の施策をはじめ、道路、公園などの整備はもちろん、生きがいデイサービス事業や配食サービス事業など介護保険制度に該当しない在宅の高齢者世帯などの支援、障害者と健康者の交流の場でもある「福祉プラザ・やまぶき」の完成に伴う運営委託、国際的な環境マネジメントシステム「ISO14001」の認証取得に向けた研修などの実施、白石スキー場のセンターハウスの新設、福岡中学校の体育館や部室の建設などいろいろな事業を行いました。

特に、12年度の情報ネットワーク整備では、中央公民館、福岡公民館、大平公民館への整備を行い、これで市内すべての公民館がアテネと接続されました。よって、全公民館での「保健・福祉相談システム」へ

として無理なく返しています。これが繰上償還です。それが12年度は10億9千万円ほどになっています。白石市の場合には財政が比較的順調だからこれができるのです。県内の市町村で白石市ほど繰上償還を行っているところはどこにもありません。

このように7年度から利率の高いものを優先に返しています。ですから、現在、スワッシュランド、白石城などの借入金はずべて返し終えています。ホワイトキューブについても、13年度において10億円ほど繰上償還を行っていることから13年度末残高は36億円程度になり、いつでも全部返せる額

となります。

市では、この繰上償還に積立金(市の貯金)を使っています。平成12年度末の貯金残高は平成11年度末よりも逆に約7億円増え、66億円ほどになっています。以上、健全な財政運営を行いつつ、市民の皆さんが安全で快適に過ごせるようなくらし日本一のまちづくりに努めてまいりました。今後も市政運営の大きな基盤である情報通信について、IT技術の伸展を大いに活用しつつ、同時に情報に対するセキュリティネットに注意を払いながら、健全な財政運営に努めていきます。

人口41,015人として (平成13年3月31日現在)

市民一人当たりいくら? 一般会計決算より

税負担額	103,517円	県内10市中8位
県内10市平均	126,248円	
支出額	398,229円	県内10市中2位
県内10市平均	345,558円	
地方交付税	152,137円	県内10市中1位
県内10市平均	92,007円	
積立金(市の貯金)	160,838円	県内10市中1位
県内10市平均	73,591円	

特別会計					水道事業会計
国民健康保険 収入 29億2,599万円 支出 27億2,514万円	下水道事業 収入 22億7,516万円 支出 22億7,156万円	介護保険 収入 12億6,390万円 支出 11億4,691万円	老人保健 収入 43億5,947万円 支出 42億5,950万円	農業集落排水事業 収入 4,020万円 支出 4,020万円	地方卸売市場事業 収入 421万円 支出 403万円
収益的収入及び支出 収入 10億6,904万円 支出 9億5,505万円 資本的収入及び支出 収入 1億9,516万円 支出 3億4,473万円					

計168億7,143万円

